

(様式1-2)

復興交付金事業計画 復興交付金事業等

基金設置の時期: 平成25年3月 設置の有無: 有

平成26年11月時点

(単位:千円)

Table with columns: No., 事業番号(注1), 事業名(注2), 地区名施設名, 交付団体, 事業実施主体, 直接/間接, 総交付対象事業費(注3), うち、特定市町村又は特定都道府県以外の者が負担する額を減じた額, 各年度の交付対象事業費(注4) (平成23-27年度), 全体事業費(注5), 全体事業期間(注6), 備考(注7).

Summary table with columns: 都道府県名 (千葉県), 市町村名 (千葉市), 担当部局名 (総合政策局総合政策部政策企画課), 電話番号 (043-245-5057), 担当者氏名, メールアドレス (kikaku.POC@city.chiba.lg.jp).

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3)「総交付対象事業費」は、「交付期間」を通じての全ての事業費を記載する。

(注4)「全体事業費」は、「全体事業期間」を通じての全ての事業費を記載する。

(注5)「全体事業期間」は、平成28年度以降に実施することが見込まれる事業については、平成28年度以降も含めて記載をする。

(注6)年度間調整又は事業間流用を行った場合には、「備考」に年度間調整又は事業間流用を行った旨、その時期及び額を記載する。なお事業間流用を行う場合には、流用する(流用される)事業名も合わせて記載する。

(注7)担当者氏名等は県及び市町村の担当者を並べて記載する。

(注8)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。

(注9)各年度の交付対象事業費(中段)のうち、様式1-4で提出された年度の値が配分(申請)に係る交付対象事業費となる。

(参考様式)

千葉市復興交付金事業計画 復興交付金事業等工程表(平成26年度)

平成26年11月現在

※本様式は1-2①・②に記載した事業ごとに記載してください。

交付団体	千葉市	No.	1事業番号	D-19-1	事業名	市街地液状化対策事業	事業実施主体	千葉市	
項目	平成26年度								
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	備考				
地域等の合意形成									液状化対策事業対象地域
実証実験									H25年度から実施
復興交付金事業計画変更									
液状化対策事業計画(案)作成									事業化予定地区
事業化に向けた合意形成									事業化予定地区
調査・測量・設計 支障物件移設									事業化予定地区
工事									事業化予定地区

(注)上記項目について、実施予定時期を矢印で示してください。(なお、項目に該当するものがない場合は当該項目は記載する必要はありませんが、他の項目があれば、適宜書き換えて記載してください。)

(注)同一項目で複数の記載事項がある場合はずらして記載してください。

(注)平成24年度末までに終わらないものや、それ以降に実施するものについては、備考欄に終了時期や実施時期を記載してください。